

# ヒューマンエージェントインタラクション技術を用いた 拡張人間社会

大澤博隆<sup>1</sup>

**概要:** ヒューマンエージェントインタラクション (HAI) は、人間から見たときに意図があるように見える人工物等を含めることで、人間にとってどのような効用が生まれ得るかを探る学問である。オーグメンテッド・ヒューマンのような人間拡張技術が、我々個人の能力を拡張するように、HAI は我々が住む社会自体を拡張する手段である。特に昨今の HAI 研究は、人間とエージェントとの対人インタラクションによる効用を直接目指すだけでなく、こうした社会的エージェントの導入による、人間に対する間接的効果を含めた効果を、広く研究する学問となっており、対人ロボットからテレプレゼンス、ビデオゲーム、人文学まで、数多くの応用対象が生まれてきている。またこうした HAI 技術は、人々が離れて生活せざるを得なくなった新型コロナウイルス禍 (COVID-19) の下で生きる人類にとって、大きな手助けとなりつつある。本発表では、COVID-19 下の小学校にて 1 年以上稼働した、非同期型のユーザ生成型エージェントシステムを介した児童間のコミュニティ作成事例を中心に、我々が培ってきた人間社会が将来的に HAI 技術によってどのように拡張され、頑健性を持つかを多方面から議論する。

---

<sup>1</sup> 筑波大学  
University of Tsukuba